

柏崎刈羽原発再稼働の動きが加速 命と暮らしを守るため「再稼働反対！」の大きな声を

柏崎刈羽原発の再稼働に向けた動きが加速しています。4月、7号機に燃料が装荷され、6月までに再稼働に向けた設備の検査が全て終わりました。技術的にはすぐにでも再稼働が可能であるといわれています。

柏崎市の桜井雅浩市長は東京電力社長と面会し、要請があれば柏崎刈羽原発7号機の再稼働に応じるとの考えを示しました。

刈羽村では3月、村議会で柏崎刈羽原発の「早期再稼働を求める請願」が採択されました。品田宏夫村長は「再稼働に地元同意が必要だ」とするルールはない」とまで述べています。

岸田文雄首相は8月27日、再稼働への地元の理解を得るため、原子力関係閣僚会議を開いて対応を協議すると表明しました。また、「再稼働を果たすためには地元からの要望を踏まえ、事業者と政府が一体となって対応する必要がある」と述べました。

再稼働について「県民の意思を確認する」としている花角英世新潟県知事は8月29日、岸田首相の前述の発言を歓迎する考えを示しました。一方、地元同意を判断する時期については、これまで同様に「見通せない」としながらも、今後2年間で再稼働に対する県民の意思がはっきりし、判断を示すことができるようになるとの考えを示しました。しかし、「県民の意思を確認する」方法については、まだ決めていないとしています。岸田首相も「地元の理解」を判断する基準を明らかにしていません。強引に再稼働を進めることが懸念されます。

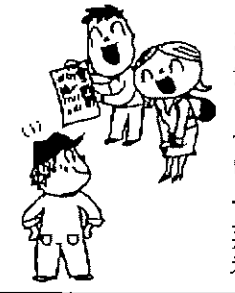
原発には自然災害や人為的ミスによる放射能事故の危険があります。東京電力は福島第一原発事故を起こす前から、原発関連の不祥事を繰り返して起しています。安全管理意識



が欠落しており、原発を運転する資格も能力もないことは明らかです。もしも大雪の日に大規模な放射能事故が発生したら、安全な場所へ避難することは不可能です。柏崎刈羽原発を再稼働することは私たちの命と暮らしを脅かす行為であり、このうえなく危険です。絶対に許せません。「原発再稼働反対！」の大きな声を上げ続けましょう。

会員紹介で新規入会！ 「民商に相談を」とお声をかけを

先日、会員さんからの紹介で新規に入会された会員さんがいらっしゃいました。長岡民商の仲間が増えることは、とても嬉しいことです。長岡民商では、新規入会の大半が会員紹介によるものとなっています。民商・全商連は小規模・個人事業者の地位向上や要求実現を目指しています。そのためには会員数の増加が必要です。自分ですら確定申告をしたい・困り事がある・労働保険に加入する必要があるお知り合いや業者仲間に、ぜひ「民商に相談を」と声をかけてください。よろしくお願ひします。



柏崎刈羽・全国の原発を再稼働させず廃炉へ！ なくとて原発2024 柏崎大集会

日時 9月29日(日) 12時45分〜「12時開場」
集会終了15時10分、その後デモ行進

会場 柏崎市文化会館アルフォーレ
デモ行進の最後尾の終了16時30分
参加は無料です。井戸謙一弁護士（元裁判官）による講演「原発と司法」司法は原発を止めることができるのか、佐々木寛新潟国際情報大学教授による報告、バンド演奏、デモ行進などが予定されています。詳しくは折込チラシをご確認ください。

原発には自然災害や人為的ミスによる放射能事故の危険があります。東京電力は福島第一原発事故を起こす前から、原発関連の不祥事を繰り返して起しています。安全管理意識